

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	日本/ユネスコパートナーシップ事業		担当部局	国際統括官付		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度		担当課室	国際統括官付		国際課国際協力政策室長 浅井 孝司		
会計区分	一般会計		施策名	XⅢ-2 国際協力の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	ユネスコ活動に関する法律(第4条)		関係する計画、通知等	我が国における「国連持続可能な開発のための教育の10年」実施計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	知的交流を通じたユネスコの理念及び目的の実現に向け、国内のユネスコ活動に関する機関の活動強化及び幅広い国民のユネスコ活動への参加の促進、更にはユネスコ活動の普及と理解の促進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	教育、科学、文化及びコミュニケーションの分野から、文部科学省が日本ユネスコ国内委員会の助言に基づいてテーマを設定し、ユネスコ事業の関係機関(ユネスコスクール、ユネスコチャ(講座)開講機関等)が当該テーマについて我が国の知見や経験を活かした事業(研修セミナー、国際会議、交流活動等)を実施。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	28	120	120	86	85	
	執行額	26	88	88				
	執行率(%)	92.9%	73.3%	73.3%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (26年度)
	ユネスコスクール数		成果実績	校	79	136	279	500
			達成度	%	15.8%	27.2%	55.8%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	実施事業数(ユネスコスクール関連)		活動実績 (当初見込み)	件	2	6	6	—
						(6)	(6)	
単位当たりコスト	10.6 (百万円/件)		算出根拠	= 予算執行額(63.8百万円) ÷ 事業実施件数(ユネスコスクール関連)(6件) ※22年度				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	委託費	79百万円	79百万円					
	庁費	5百万円	4百万円					
	職員旅費等	2百万円	2百万円					
	計	86百万円	85百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業は、教育、科学、文化及びコミュニケーションの分野について、ユネスコ事業の関係機関が我が国の知見や経験をいかした事業を実施することを目的とするものであり、平成21・22年度に予算と執行実績の差異が生じているが、H23年度に実績を踏まえた予算縮減を行っている。今後の事業実施にあたっては、委託先での執行管理を改善し、効果的・効率的な事業実施の確保に努める必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、教育、科学、文化及びコミュニケーションの分野について、ユネスコ事業の関係機関が我が国の知見や経験をいかした事業を実施することを目的とするものであり、今回、予算執行率の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：平成21・22年度に予算に不用が生じているが、平成23年度において予算の縮減を図るなど一定の見直しを図っており、現時点において見直しの余地はないが、今後の事業実施に当たっても、委託先での効果的・効率的な事業実施の確保に努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

日本／ユネスコパートナーシップ事業

文部科学省
88百万円

【企画競争 委託】

A 財団法人ユネスコ・
アジア文化センター等
39百万円
(全2機関)

B 国立文化財機構
東京文化財研究所等
49百万円
(全6機関)

【企画競争 再委託】

C 仙台市立中野小学校
等
17百万円
(全58機関)

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A. 財団法人ユネスコ・アジア文化センター			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	賃金	7			
事業費	旅費、雑役務費等	5			
再委託費	再委託先に係る事業費	7			
一般管理費	事業実施に係る一般管理費	1			
計		20	計		0
B. 国立文化財機構東京文化財研究所			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	賃金	9			
事業費	旅費、雑役務費等	10			
一般管理費	事業実施に係る一般管理費	2			
計		21	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

※費目は百万円未満は四捨五入。

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人ユネスコ・アジア文化センター	ユネスコスクール運営管理事業におけるユネスコスクール活動推進のための事務局運営とユネスコスクールにおけるESD普及促進活動	20	企画競争	—
2	宮城教育大学	ASPUnivNet(ユネスコスクール・ネットワーク支援大学間ネットワーク)によるユネスコスクール地域拠点の形成とフラッグシップ・プロジェクトの展開	19	企画競争	—

B

1	独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所	アジア太平洋地域無形文化遺産保護活動の調査研究	21	企画競争	—
2	NPO法人日本持続発展教育推進フォーラム	第2回ユネスコスクール全国大会—持続発展教育(ESD)研究大会	10.5	企画競争	—
3	社団法人日本ユネスコ協会連盟	持続発展教育(ESD)普及のためのユネスコスクール推進事業	6.8	企画競争	—
4	奈良教育大学	世界遺産をツールにしてESDにせまる学習モデルづくりと「世界遺産学習全国サミット」を通じた実践交流事業	4.6	企画競争	—
5	横浜国立大学	生物多様性条約COP10サイドイベント「ユネスコMAB(人間と生物圏)計画、持続的発展教育(ESD)およびその日本における取組み」	3.4	企画競争	—
6	NPO法人持続可能な開発のための教育の10年推進会議	地域と学校が連携したESD推進事業	2.9	企画競争	—

C

1	仙台市立中野小学校	ユネスコスクールにおけるESD普及促進活動	0.2	企画競争	—
2	豊中市立上野小学校	—	0.2	企画競争	—
3	松原市立松原第七中学校	—	0.2	企画競争	—
4	奈良女子大学附属中等教育学校	—	0.2	企画競争	—
5	渋谷教育学園渋谷中学高等学校	—	0.2	企画競争	—
6	広島大学附属中・高等学校	—	0.2	企画競争	—
7	札幌市立札幌大通高等学校	—	0.2	企画競争	—
8	大阪府立住吉高等学校	—	0.2	企画競争	—
9	福岡県立武蔵台高等学校	—	0.2	企画競争	—
10	NPO法人京田辺シュタイナー学校	—	0.2	企画競争	—

※ 単位未満は四捨五入のため積み上げ合計とは一致しない